

ワンヘルスについて

【調査目的】

今、地球上では、人口増加、森林開発や農地化などの土地利用の変化によって、自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動が生じています。また、人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の双方に感染する「人獣共通感染症」が増えています。

こうした問題に対応するためには、人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス (One Health)」の考え方が重要です。この考え方は、世界的に広がっており、「G7 サミット」など国際間の枠組みでも合意されています。

県では、みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進めるなど、全国に先駆け、ワンヘルスの推進に取り組んでいます。

今後、より一層の取組を進めるにあたり、「ワンヘルス」について皆様の御意見をお聴かせいただき、事業及びその評価などの参考とさせていただきたいと思っております。

(保健医療介護部保健医療介護総務課ワンヘルス総合推進室)

1 令和5年度第5回県政モニターアンケート調査

(概要)

モニター数： 398人

回答数： 363人

回収率： 91.21%

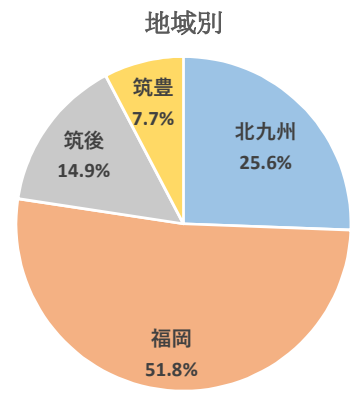
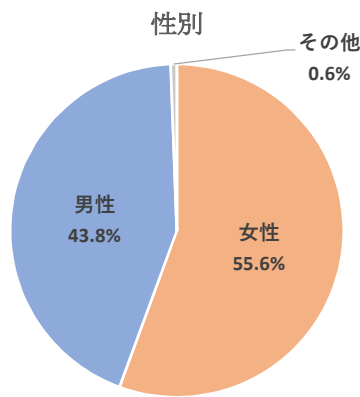
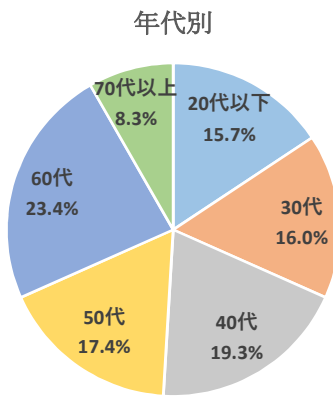
実施期間： 令和5年11月17日～令和5年12月7日

(回答者構成)

(n=363)

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	363	93	188	54	28
	構成比		25.6%	51.8%	14.9%	7.7%
性別	女性	202	57	101	27	17
	男性	159	36	86	26	11
	その他	2	0	1	0	1
年代別	20代以下	57	14	27	11	5
	30代	58	14	31	9	4
	40代	70	17	38	11	4
	50代	63	17	32	10	4
	60代	85	24	41	12	8
	70代以上	30	8.3%	7	19	1

回答者構成



n=363

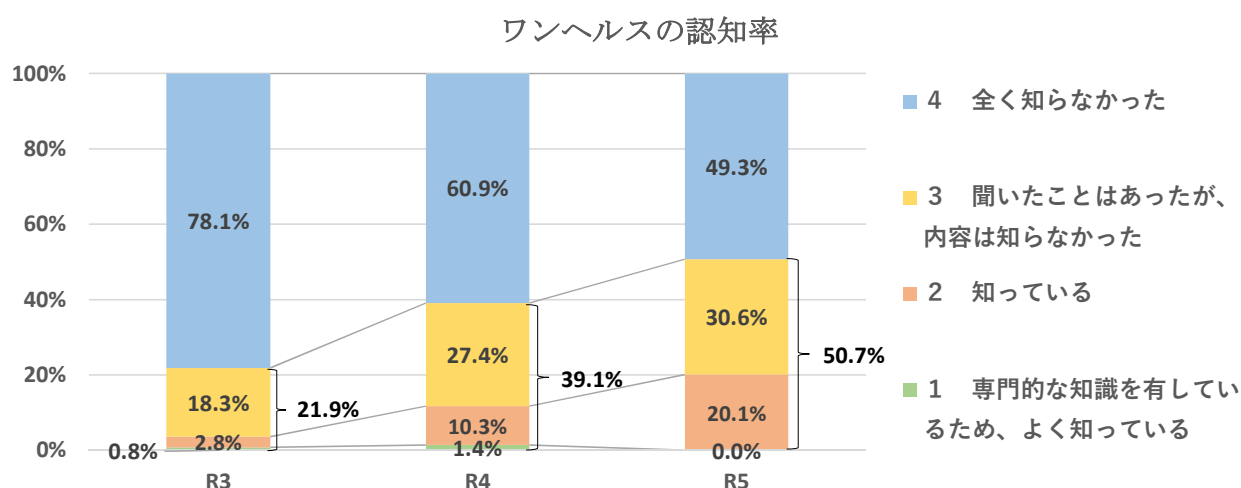
2 調査結果

問1 あなたは、「ワンヘルス」とは何か知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

【全体】

(n=363)

選択肢	R3		R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	3	0.8%	5	1.4%	0	0.0%
2 知っている	10	2.8%	36	10.3%	73	20.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	66	18.3%	96	27.4%	111	30.6%
4 全く知らなかった	281	78.1%	213	60.9%	179	49.3%
合計	360	100.0%	350	100.0%	363	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1~3と回答した方)	79	21.9%	137	39.1%	184	50.7%



- ・調査を開始した令和3年度以降、「ワンヘルス」という言葉を知っている方の割合（認知率）は増加傾向にあり、今回の調査では前年に比べ11.6%増加し、50%を超えた。

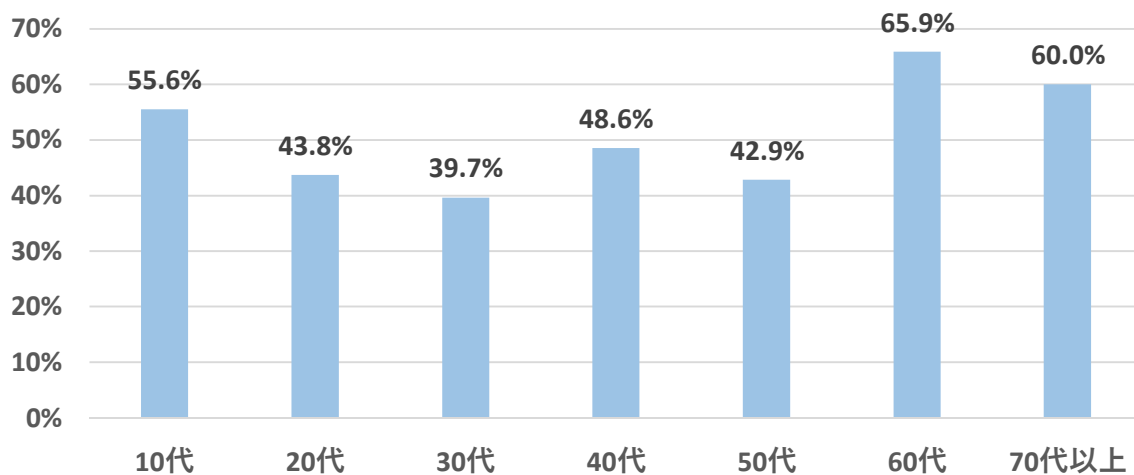
(R4:39.1% → R5:50.7%)

【年代別】

(n=363)

選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2 知っている	1 11.1%	10 20.8%	6 10.3%	7 10.0%	19 30.2%	20 23.5%	10 33.3%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	4 44.4%	11 22.9%	17 29.3%	27 38.6%	8 12.7%	36 42.4%	8 26.7%
4 全く知らなかった	4 44.4%	27 56.3%	35 60.3%	36 51.4%	36 57.1%	29 34.1%	12 40.0%
合計	9 100.0%	48 100.0%	58 100.0%	70 100.0%	63 100.0%	85 100.0%	30 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	5 55.6%	21 43.8%	23 39.7%	34 48.6%	27 42.9%	56 65.9%	18 60.0%

年代別の認知率



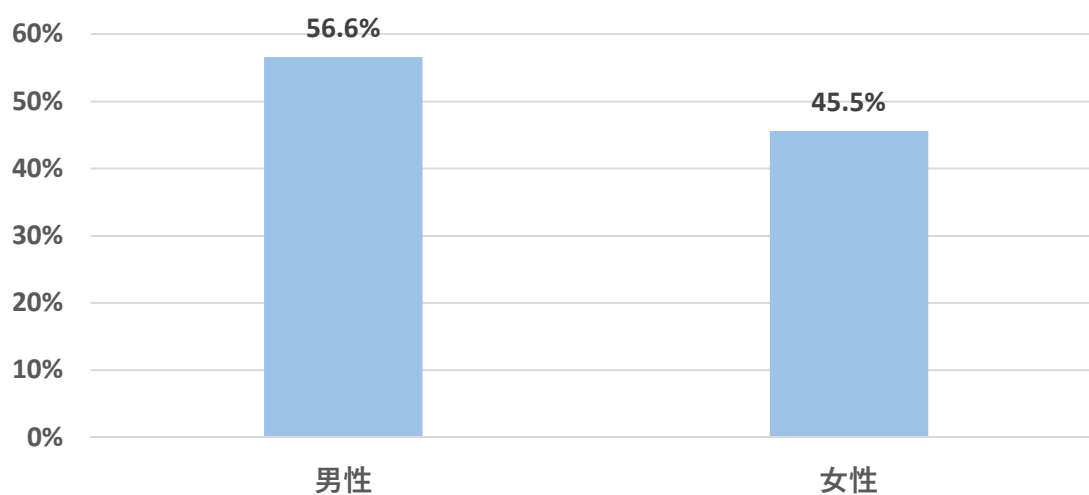
- ・年代別のワンヘルスの認知率は、60歳以上で60%を超えているのに対し、20代～50代では50%を下回っている。

【男女別】

(n=363)

選択肢	男性		女性		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 知っている	38	23.9%	33	16.3%	2	100.0%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	52	32.7%	59	29.2%	0	0.0%
4 全く知らなかった	69	43.4%	110	54.5%	0	0.0%
合計	159	100.0%	202	100.0%	2	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	90	56.6%	92	45.5%	2	100.0%

男女別の認知率



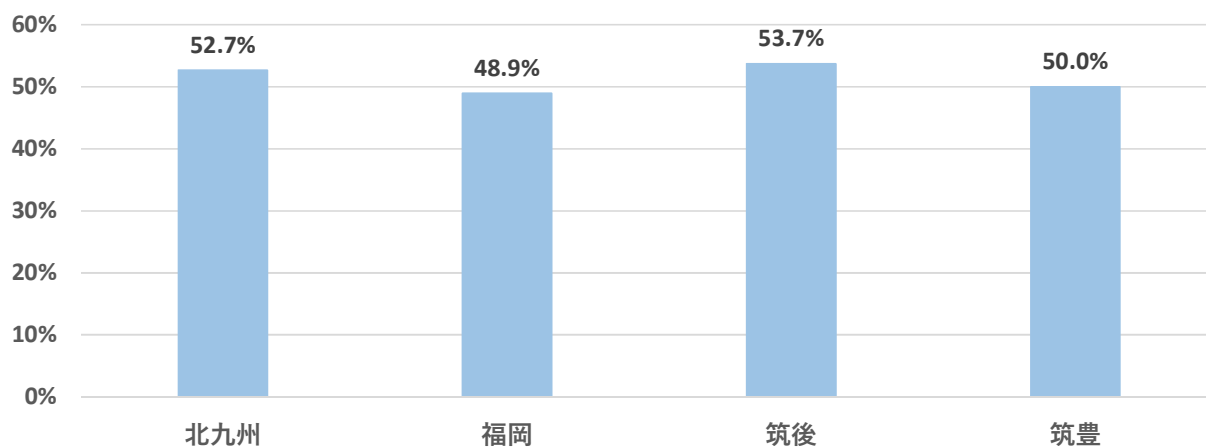
- ・男女別のワンヘルスの認知率は、男性 56.6%、女性 45.5%であり、男性の方が認知率が高い。

【地域別】

(n=363)

選択肢	北九州	福岡	筑後	筑豊
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2 知っている	18 19.4%	39 20.7%	10 18.5%	6 21.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	31 33.3%	53 28.2%	19 35.2%	8 28.6%
4 全く知らなかった	44 47.3%	96 51.1%	25 46.3%	14 50.0%
合計	93 100.0%	188 100.0%	54 100.0%	28 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	49 52.7%	92 48.9%	29 53.7%	14 50.0%

地域別の認知率



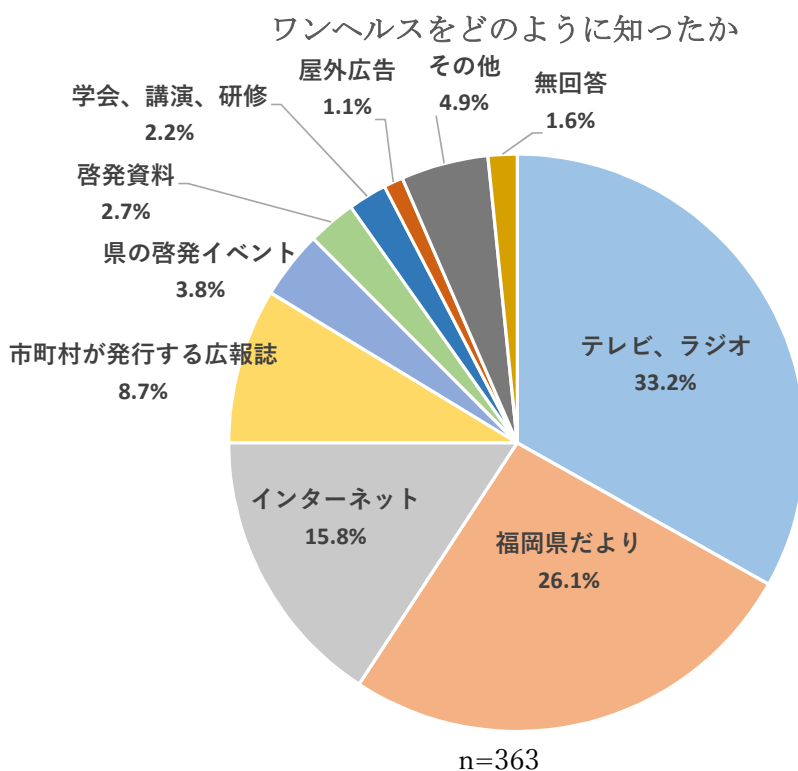
- 地域別のワンヘルスの認知率は、最も高かったのが筑後地域の53.7%、最も低かったのが福岡地域の48.9%であり、地域ごとに大きな差は見受けられない。

問2 (問1で「1～3」を選択された方にお尋ねします。)

「ワンヘルス」という言葉をどのように知りましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=184)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	割合	割合
1 福岡県だより	34	24.8%	48	26.1%
2 県の啓発イベント	7	5.1%	7	3.8%
3 市町村が発行する広報誌	11	8.0%	16	8.7%
4 インターネット (県 HP、ワンヘルス推進ポータルサイト、広告など)	22	16.1%	29	15.8%
5 テレビ、ラジオ	44	32.1%	61	33.2%
6 啓発資料 (ワンヘルス推進冊子、ワンヘルス教育啓発資料、チラシなど)	3	2.2%	5	2.7%
7 屋外広告	0	0.0%	2	1.1%
8 学会、講演、研修	4	2.9%	4	2.2%
9 その他	10	7.3%	9	4.9%
無回答	2	1.5%	3	1.6%
計	137	100.0%	184	100.0%



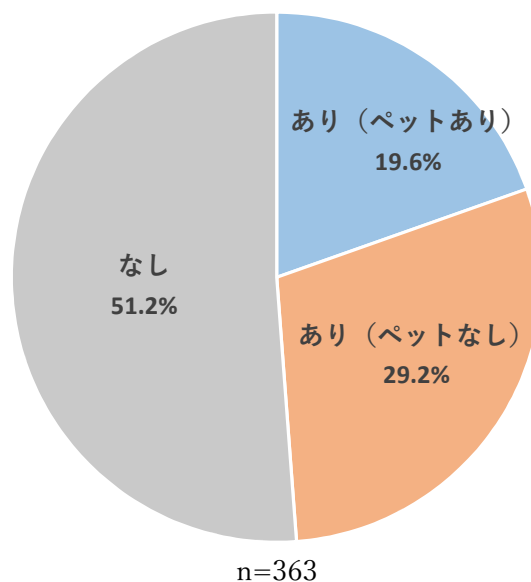
- ワンヘルスについて知っている人が、どのようにワンヘルスを知ったかについて、最も多かったのが「テレビ、ラジオ」、続いて、「福岡県だより」「インターネット」「市町村が発行する広報誌」の順で、これらを合わせると8割以上を占めており、日常生活で触れることの多い媒体で知ったことが伺える。
- このうち、「テレビ、ラジオ」については、10月・11月に開催したワンヘルスフェスタのPRのため、テレビやラジオでイベントの紹介やワンヘルスの啓発を行ったこと、また10月からワンヘルス認証のテレビCMが放映されたことによるものと考えられる。

問3 あなたは日常生活の中で、動物とふれ合う機会がありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=363)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合
1 現在、ペットを飼っており、日常的にふれ合う機会がある	82	23.4%	71	19.6%
2 ペットは飼っていないが、動物とふれ合う機会がある（ふれあい動物園やイベントなど）	110	31.4%	106	29.2%
3 動物とふれ合う機会はない（アレルギーがある、動物に興味がないなど）	158	45.1%	186	51.2%
合計	350	100.0%	363	100.0%
動物とふれ合う機会がある方 （1～2と回答した方）	192	54.9%	177	48.8%

動物とふれ合う機会



・動物とふれ合う機会がある方は48.8%と、およそ2人に1人に当たる。

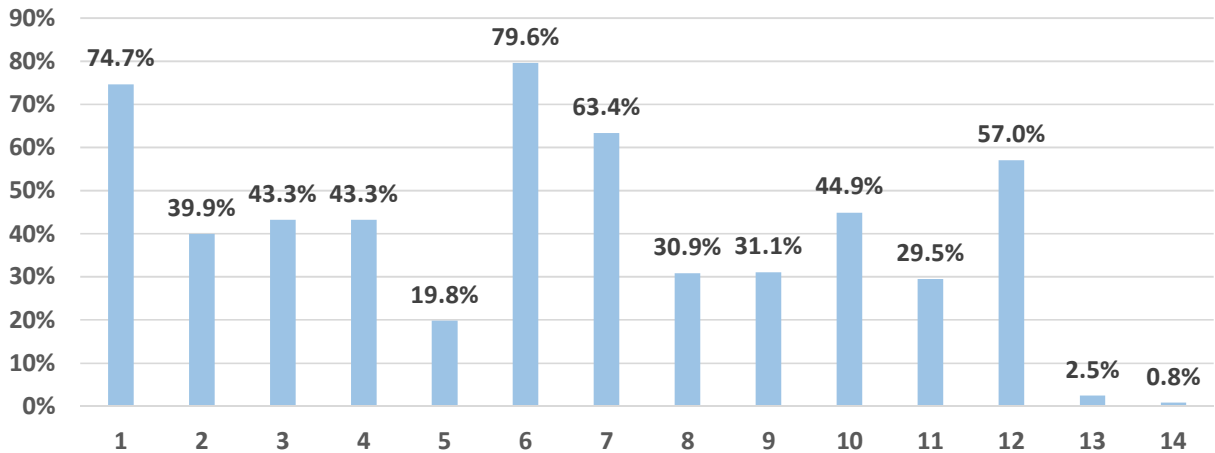
問4 県では、ワンヘルスの課題に対し、「人獣共通感染症対策」、「薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策」、「環境保護」、「人と動物の共生社会づくり」、自然や動物とのふれ合いを通じた「健康づくり」、「環境と人と動物のより良い関係づくり」を進めています。これらに関して、あなたが、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。次の中から該当するものを【全て】選んでください。

(複数選択可) (n=363)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合
1 動物に触れた後は、手洗いをし、清潔に保つ（人獣共通感染症対策）	252	72.0%	271	74.7%
2 ペットに口移しで食事を与えるなど、過剰な接触を避け、人と動物の共通感染症にかかることを防止する（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	145	39.9%
3 登山や里山など野生動物が多く生息するような環境に出かける際は、マダニなどに咬まれないようにするため、長袖、長ズボンなどを着用し、感染防止に努めている（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	157	43.3%
4 病院や薬局で処方された抗生物質は、途中でやめないなど、用法用量を守り、薬剤耐性菌を生む要因の発生防止に貢献する（薬剤耐性菌対策）	142	40.6%	157	43.3%
5 移動の際は自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献する（環境保護）	55	15.7%	72	19.8%
6 買い物の際にはレジ袋をもらわず、エコバッグを持参し、プラスチックごみの削減に貢献する（環境保護）	253	72.3%	289	79.6%
7 野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している（人と動物の共生社会づくり）	202	57.7%	230	63.4%
8 ペットを飼う場合は、その健康管理を行うとともに、飼育環境を清潔にする、散歩中の糞は持ち帰るなど、適切に管理している（人と動物の共生社会づくり）	97	27.7%	112	30.9%
9 ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深めている（健康づくり）	100	28.6%	113	31.1%
10 食材を購入する際は、できる限り地元で生産された農産物を選び、地産地消に取り組んでいる（環境と人と動物のより良い関係づくり）	150	42.9%	163	44.9%
11 食材を購入する際は、低農薬など、環境負荷の少ない農産物を選ぶようにしている（環境と人と動物のより良い関係づくり）	106	30.3%	107	29.5%
12 買いすぎない、作りすぎない、注文しすぎない、食べきるなどを心がけ、食品ロスの削減に取り組んでいる。（環境と人と動物のより良い関係づくり）	201	57.4%	207	57.0%

13 取り組んでいることはない	11	3.1%	9	2.5%
14 その他（次の設問で具体的に記入してください。）	2	0.6%	3	0.8%

日常生活の中で取り組んでいること



- ・ ワンヘルスの各課題に対し日常生活で取り組んでいる方の割合は、エコバッグ持参による環境保護、動物に触れた後の手洗いによる人獣共通感染症対策が7割以上と、高い割合を占めている。
- ・ 人獣共通感染症対策に係る取組を行っている方の割合はどの設問も約4割以上を占めており、多くの方が取り組んでいる。
- ・ 一方で自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献することについては、19.8%と低くなっており、自家用車が生活において不可欠であることが伺える。

問5 問4で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。

- ・ コンポスト利用で生ゴミを減らしている。【60代 男性（北九州）】
- ・ コンポストを利用して野菜くずを出さず、ごみ減量に貢献し、かつたい肥を作成、家庭菜園している【60代 女性（北九州）】
- ・ 動物系とは接触しない【50代 男性（筑後）】

問6 今後、県のワンヘルスの取組について、求めることがありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 動物との触れ合いからフードロスまでワンヘルスとは幅広いものなのだと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 具体的にペットの種類ごとに罹る病気などが分かっていたら、テレビや新聞などで広報して欲しい【60代 女性（北九州）】
- ・ ワンヘルス事業の啓発のために、無駄な広告宣伝やエネルギー消費がないようにしてほしい。【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスという取り組みの背景と概念や施策を県民に判るようにするイベントや活動を期待するし、やはり概念が広いので、問11のように身近な行動レベルで示して理解を促す活動が重要だと思う。総論賛成だが行動レベルに繋がっていないケースが多いと思うので。【60代 男性（北九州）】
- ・ 最近、物価高で飼い犬の狂犬病などのワクチン接種をしない飼い主がいると聞きます。迷惑なので罰則を設けて欲しいです。【50代 女性（北九州）】
- ・ もっと具体的内容をテレビラジオで広報が必要と思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 今回、ワンヘルスという言葉は初めて聞いたので、もっと普及活動をした方が良いのではないかと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 福岡県だよりやホームページでさらにピーアールする必要がある。知らない人が多いと思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 野生動物保護のため山野を切り開く太陽光パネルを規制して欲しい【50代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスというフレーズを聞いただけでは意味がわかりにくいので、一言聞いただけで趣旨がわかるようなフレーズに変えた方がいいと思います。【50代 男性（北九州）】
- ・ 野生の動物が人間の生活圏に近づかないように、ゴミステーションの整備をして欲しい。【50代 女性（北九州）】
- ・ 人間、動物、環境の各分野に関し、一体的な調査や研究が出来れば、生態系の変化を把握でき、感染症や薬剤耐性菌等の課題に対応し、その対策にも重要な役割を果たすものと思料します。また、専門人材の育成にも繋がりますので、福岡県の先進的な取組みは、大変喜ばしいことと思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ 地方の野生動物被害とそれに対する取り組みへの支援や協力や理解を進めること。【20代 女性（北九州）】
- ・ 環境保護は重要と思います。国内の水源地など国や県で管理するなど施策が必要と思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスフェスタなるものが地元で開催されていたのを今回調べて初めて知った。私のように言葉の存在自体を知らない人もかなり多くいると思うので、イベントやポスターなどもっと活発な普及活動が必要だと思う【40代 女性（北九州）】
- ・ たまたま行った先でワンヘルスのイベントがあって、このことを知りました。主に犬猫の保護や支援する方たちのマルシェで、このことを知るのに良い機会でした。でも、事前には知らなかったなので、具体的な取り組みなど知る機会が増えると良いと思いました。【60代 女性（北九州）】
- ・ 当地では野良が多く病気を患った猫も見受けられる。一方、野山・河川の除草、放置が見受けられ環境悪化と共に猪・ハクビシン・アライグマが見受けられるので自治会で除草活動に努力しています。【70代以上 男性（北九州）】

- ・あまり偽善にならないよう、個々の意識改革を促していければ良いと思います。自己中心的な考えの方が増え平気でゴミを捨てたりその姿を見た子供達の将来が心配になります。【40代 女性（北九州）】
- ・みやま市の取り組みを市外の興味ある人にも参加できるようにしていただけたらうれしいです（バイオマス工場の見学を土日でもできるように、とか、講習会に市外の人も参加できるようにとか・・・）【50代 女性（北九州）】
- ・一般の方に広く認識されるような啓発活動【50代 女性（北九州）】
- ・ワンヘルスを知らなかったので周知を増やす必要があると感じました。【30代 女性（北九州）】
- ・ワンヘルスという名前自体が非常にわかりにくいと思います。もう少し具体的なテーマ名をワンヘルスという名前の後につけて内容が分かるようにしてはどうでしょうか。【60代 女性（北九州）】
- ・もっと地産地消奨励し、学校給食には地元の食材を積極的に利用し、生産者には農薬や除草剤の使用の削減を求めているほしい【60代 女性（北九州）】
- ・動物が排便を公共施設などで行なっているのがたまに目につく。おむつを習慣的に履かせるようにするなどして欲しい。【20代 女性（福岡）】
- ・ワンヘルスの定義は広いため一つ一つ身近な所から進めていくよう旗を振って欲しいものです。【70代以上 男性（福岡）】
- ・言葉がカタカナなので覚えられない。もっとわかりやすい簡単な言葉にしてほしい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・福岡県は自然豊かで森林浴、山登りなど自然を楽しめる場所が沢山あると思います。これからも沢山広報活動等で素敵な場所を教えてください。生まれも育ちも福岡県ですが、まだまだ知らない場所が沢山あります。また新しい自然スポットもできていると思うので、情報発信をよろしくお願い致します。【50代 女性（福岡）】
- ・みやま市に建てるワンヘルスセンターではどのようなことをするのか説明する場を設けてほしい。【30代 男性（福岡）】
- ・地元のJAを利用して、地産地消を行っている。家庭菜園・草花の栽培を通して、自然に接する機会を作っている。【70代以上 男性（福岡）】
- ・県がどんな取り組みをしているのか、知らない。【70代以上 男性（福岡）】
- ・新型コロナウイルス感染症などもあったため、ワンヘルスの理念の浸透や課題解決に向けた取り組みの推進自体は意義のあることだと思います。しかし、感染症対策というのは国家規模の話であるため、福岡県が独自に多額の予算を組んで、先駆けて諸々の取り組みを推進することの必要性やメリットが十分に理解できません。（私が知らないだけかも知れませんが、）そうした点に特化した県民に対しての説明が欲しいなと思います。【30代 男性（福岡）】
- ・活動内容が周知されていないので、まずはそこからかなと。求める以前の問題のような気がする。【20代 男性（福岡）】
- ・マクロ（運命共同体＝地球全体を守る）、ミクロ（身近なところからの取り組み）の両面からの取り組み、アピールが出来ればと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・まだ、理解できていないところもあり、今はないです。【50代 女性（福岡）】
- ・必要の有無がよくわかりません。【50代 男性（福岡）】
- ・地域ネコを推進してほしい。無農薬・低農薬・有機肥料を実践している農家を様々な面で支援して、そうした農業を行う方が利益が高くなるように仕向け、従事者を早急に増やしてほしい。【50代 男性（福岡）】
- ・県民が取り組みやすくなるような様々な情報発信をお願いします。【60代 男性（福岡）】

岡)】

- ・ 動物愛護にもっと力をいれてほしいです。野良猫のトイレや餌、避妊の管理、殺処分への厳密化など【30代 女性(福岡)】
- ・ ゴミの分別、リサイクルの推奨【30代 男性(福岡)】
- ・ 福岡市に住んでいるが、県内でもさる、いのしし、ハクビシン、たぬき、しかの被害を聞く。対策が必要だと感じる。【70代以上 女性(福岡)】
- ・ ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深める健康づくりのための情報発信をたくさんお願いします。【60代 男性(福岡)】
- ・ 私はもともと自然科学や環境問題に関心があるためワンヘルスを知っていましたが、まだまだ一般の認知は低いかわかれます。まずは「ワンヘルス」という言葉を広めることを目的に各種媒体を活用するのはいかがでしょうか。【30代 男性(福岡)】
- ・ 捨猫を見つけても子ども達には手を出さない様に注意をしています。子供食堂をもっと地域を交えた交流の場を設けて頂きたい。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ ワンヘルスが大事だということは今回の設問を読んで理解できました。具体的にどのようなアクションができるのかをもっと知りたいと思いますので、チラシやHP、掲示などで教えていただけると助かります。【30代 女性(福岡)】
- ・ とても良いことだと思うので、出来ることからコツコツと実践したいと思います【20代 男性(福岡)】
- ・ 今ある産業、農業/林業/漁業、それに携わっている人を助けてください。そういった活動を県で行ってほしい。【50代 女性(福岡)】
- ・ 取り組み自体をまったく聞いたことがなかった。詳しく知りたい。【50代 男性(福岡)】
- ・ 市町村が発行する広報誌等により認知度の向上が必要だと思います。【60代 女性(福岡)】
- ・ 今ひとつ、概念が良く解りません。分かりやすく啓蒙活動する必要が有ります。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ カラスなどの鳥がゴミをあらさないよう、生ごみを堆肥に変えられるステーションのような場所がたくさん増えてほしい。【50代 女性(福岡)】
- ・ 里山の保護や害獣の対策は急務だと思います。こんな簡単な話ではないのですが、山頂に美味しい栗の木や柿の木の植樹など。【50代 女性(福岡)】
- ・ 野生動物への正しい理解を啓蒙していく必要性を感じる。今、頻繁にニュースで見るクマ被害関連で、クマの駆除に対する誤った思い込みで自治体や協力者であるハンターへの非難が殺到しているとのこと。野生動物の危険を広くアナウンスすると共に、法令を変更する必要性を強く求める。【60代 女性(福岡)】
- ・ 知名度のアップを期待します。【70代以上 女性(福岡)】
- ・ 各人の理解と意識づけを進める事。気長に取り組む事。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ 野良猫の対策を進めてほしい。【20代 その他(福岡)】
- ・ ワンヘルスのイベントが舞鶴公園などでありましたがまだまだ少ない、もっとたくさん行って欲しいです。小規模の公園やペットグッズ屋などでも。【40代 女性(福岡)】
- ・ 基本的には良い考えだと思いますが、一方で、今熊対策などで、駆除の方針も出ています。駆除という考え方と「ワンヘルス」との関係性を説明するという方針を出した方が良いと思います。このような矛盾性が浸透を妨げるのだと思います。【60代 男性(福岡)】

- ・ ワンヘルスをどんどん広報してほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの内容を詳しく知らない人もいるから、保存できる冊子を作り配布して欲しいです。【50代 女性（福岡）】
- ・ あまり認知されていない気がするので、啓発活動をする必要があると思う。【50代 男性（福岡）】
- ・ 体験ツアーに参加して農業を勉強している。【60代 女性（福岡）】
- ・ 動物に罪は無いので、人間のモラルへの規制を強化してほしいです。密漁や乱獲など。【50代 男性（福岡）】
- ・ 近所の飼い猫による被害の訴え場所がなく、深く静かに不満が鬱積していることを、理解してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ デパートの関係者から聞いた話ですが、デパ地下にある、食品ですが、売れ残りは時間帯により値下げして出来る限りフードロスを無くように頑張っているようですが、それでも売れ残った食品については廃棄処分するとの事です。デパートの思惑とか契約等、色々あるとは思いますが世間では今日食べれない人が多いと聞きます。【60代 男性（福岡）】
- ・ 舞鶴公園など、福岡市内ではイベントなどを開催しているようですが、郊外の方でもしてほしいです。【50代 女性（福岡）】
- ・ 野生動物が人間の生活圏に出没し、生活に危害が加えられた場合の住民保護の対策【40代 女性（福岡）】
- ・ あまり優先順位が高い課題ではないと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・ 薬剤耐性に関してですが、いまだに MRSA に対してバンコマイシンを処方する医師などもあります。病院などでも容易に抗生剤を処方しないようにできるといいと思いました。人と動物が共生できるよう動物が生きやすい環境づくりをしていただきたいです。すぐに保健所で殺処分などせず、保護犬などを取り扱う施設を増やしてほしいです。【30代 女性（福岡）】
- ・ 特に環境と人と動物の良い関係作りに力を入れて頂きたい【60代 女性（福岡）】
- ・ 何を取り組んでいるのかが知られていないと感じる。取り組みをもっと PR してほしい。ワンヘルスセンターがあるのも知らなかった。【40代 女性（福岡）】
- ・ 現在、頻出するサル出没が話題になっている。今事例を防げる事が望ましいが、対策や再発防止への今取り組みに役立ってないか？【50代 男性（福岡）】
- ・ ほとんど知らない。広報活動が少ない。【40代 男性（福岡）】
- ・ 最近、猪や猿といった野生動物が、今まで出現しなかったところに出現していることについて、根本的な対策を検討して欲しい。そもそも、どうしてそのような事態になったかの分析をして、次の対策につながるベースを作ってほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスについて研究している内容やその途中経過などを公開できる範囲で発信して欲しいです。【20代 男性（福岡）】
- ・ 野生動物による人間への影響は、多くなっていると思う。海外からの侵入もあるので、今後気をつけるべき情報があれば欲しいです。【30代 男性（福岡）】
- ・ 大学や研究機関ともっと連携し、アカデミックな県「福岡」をもっと発展させていって欲しいと思います。【30代 男性（福岡）】
- ・ 県は「みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進める」となっていますが具体的にはどんなものなのでしょう。また、これだけですか？【60代 男性（福岡）】
- ・ カラスが多く、生活するのが怖いので駆除してほしい。その他害獣、外来生物（ミシシippアカミミガメを含む）を積極的に駆除して、有効活用してほしい。【20

代 男性（福岡）】

- ・ 放し飼いの犬猫の対策、野生の猿や渡り鳥への対応を考えて欲しい。【60代 男性（福岡）】
- ・ 一次産業の振興を支え、農薬や食品添加物を抑えた、食による健康維持を推進していただきたい【50代 男性（福岡）】
- ・ 食品でいえば、県指定の地産や有機などを購入するとキャンペーンがあるとか、ポイントが付くとか、企画を組めば購入につながると思います。【40代 男性（福岡）】
- ・ 社会教育施設などでワンヘルスの事業を、もっと数多く実施して欲しい【50代 男性（福岡）】
- ・ 熊が絶滅した九州においては猪…近頃は猿も…との共存についての構築が課題だろう。島では日常に出会うとかだし、被害も多いよう。予防グッズを開発している企業や人物を応援する体制を強化して欲しい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ 自己免疫が大切だと思います。【40代 男性（福岡）】
- ・ 猫が増えています。猫への取り組みも対象ですか。【50代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの概念は結構幅広くて捉えにくい、という印象があります。人間と動物の共生に関するところが「ワンヘルス」という言葉と結びつきにくい、紐づいていない感じもします。取組自体は良いものと思うので、呼称やアプローチの仕方を再考するとより広く行き渡るのではないかと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ マダニ等の情報を詳しく公開する【60代 男性（福岡）】
- ・ お祭り騒ぎし過ぎて電気エネルギー使いすぎ。言ってることとすることの乖離がひどい。ワンヘルスなどと言ってるが中身は一般的で意義が薄い。1番の問題は人口過多で、インドと中国のやりっぱなしを問題視すべき。地球が許容できる総エネルギー量を管理してくれ！開発途上国がやりっぱなし。【60代 男性（福岡）】
- ・ 休眠農地が見受けられるが、そこで小麦の生産など地産地消はできないのですか？【40代 女性（福岡）】
- ・ もっと啓発活動をしてほしい。イベントなど【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスと言う分かりにくい言葉ではなくこどもや高齢者でも分かりやすくイメージしやすい言葉に変える事はできないでしょうか【60代 女性（福岡）】
- ・ コロナウイルスのように、獣を通じて人間にも感染、流行したレイクビューもあるので、積極的に取り組んでほしい。【50代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの「ワン」が犬を連想してしまいますので、違う言い方のほうがいいのではないか。【40代 男性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスとは何なのか、もっと住民への周知を広げる機会をつくってほしい。【30代 女性（筑豊）】
- ・ 県のワンヘルスの取組をよく知らないなので、しっかり知っていききたい【60代 女性（筑豊）】
- ・ そもそも、ワンヘルスという言葉あまり聞いたことがない。【30代 女性（筑豊）】
- ・ 地域猫活動の推進無責任な餌やりなどの注意喚起【50代 女性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスの精神を守り地域自治会で啓蒙活動に取り組む。【70代以上 男性（筑豊）】
- ・ 先ずは野生動物と人間との生活のバランスを保つため、雑木林を増やして欲しいです。人工杉が多すぎます。【60代 女性（筑豊）】
- ・ インターネットでワンヘルスを調べると、以前からのフォーラムやフェスティバルなどいろんなイベントのポスターが出てきた。今年のポスターを初めて見たが、

- もっといろんなところで周知する必要があると思う。【40代 男性（筑豊）】
- ・ お年寄りやペットに人間のご飯をあげがちなので、テレビとかで防止するよう呼びかけてほしい【20代 女性（筑豊）】
 - ・ ワンヘルスは内容が多岐にわたっているの、上手に広報しないとわかりにくいと思う【60代 男性（筑後）】
 - ・ 動物愛護イベントってあまり開催されていないように感じます。告知不足なだけでしょうか。【50代 女性（筑後）】
 - ・ 福岡県でいうと色々な地方があるので、そこに分散してワンヘルスとはという活動を改めて示して欲しい。【40代 男性（筑後）】
 - ・ 国内の森林保全のために林業に重点的な補助を与えて、皆が入りたくなるように斡旋する【20代 男性（筑後）】
 - ・ 誰でもが気軽に参加できるように環境整備がされ、より取組が増えたらよいと思う。【40代 男性（筑後）】
 - ・ より沢山のイベントがあると、子供と参加できて良いと思います【40代 女性（筑後）】
 - ・ ペットを飼っている人がいても、飼い方のルールを知らない人もいるので、市などでペットの飼い方の教室を行って欲しいと思います。【60代 女性（筑後）】
 - ・ みんなが気軽に出来ることから始められるように、具体的な提案をたくさん発信したら良いと思う。発信する場合は、目的と理由とアドバイス、そして取り組むことで「こんな効果が期待出来る」とか、「こんなことを目指そう」とかは必須ですね。【50代 女性（筑後）】
 - ・ もっとアピールをしてほしい【50代 男性（筑後）】
 - ・ 小郡市では11月に入ってからサルを目撃情報が寄せられています。住宅地での目撃例と数匹存在するとのことですが未だ捕獲に至っていません。野生動物が人間の生活圏に入ってきたときにどう対処するか。県の指針を示していただきたい。【40代 男性（筑後）】
 - ・ これからも積極的に進めていただきたい。【40代 女性（筑後）】
 - ・ 素晴らしいことだと思うので、積極的にアピールしてください！【40代 女性（筑後）】
 - ・ 飼い犬や猫など、放し飼いをやめて欲しい 近所周辺で排泄トラブルが生じている当の飼い主は認識がない【50代 男性（筑後）】
 - ・ 人間居住エリアへの接近を防ぐためにも、野生動物へのエサやりは厳しく禁止すべきだと思います。【60代 男性（筑後）】
 - ・ ワンヘルスの説明は何回読んでもよく意味が分からない。SDGs との区別がつかない。【40代 男性（筑後）】

問7 ワンヘルスについて、これまでの設問以外に意見がありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 概念が広過ぎてまだよく分かりにくい部分もあります。【30代 女性（北九州）】
- ・ なかなか難しい取り組みだと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 日常において毎日、気をつけながら生活していかなければならない問題だと思う【50代 女性（北九州）】
- ・ エスディジーズとだぶる面があって判りにくい部分があると思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 「ワンヘルス」という言葉がカタカナ語で、パッと見る限りでは何を示しているのか分からないので、もう少し代替えできる言葉がないか検討しても良いと思う。【30代 女性（北九州）】
- ・ SDGsとの違いや重なる箇所を説明してほしい【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスは、目的が多種に渡っているの、ある程度目的を絞って、県民に周知した方が理解しやすいのではないのでしょうか。【50代 男性（北九州）】
- ・ まだよく理解していない。ワンヘルスという概念を分かりやすくもっと浸透させてほしい。【60代 女性（北九州）】
- ・ 地球環境について、学校で学ぶ時間をたくさん取って、小さい頃から地球に優しい生活を身に付けるようになればいいと思う。【50代 女性（北九州）】
- ・ 広報誌などでその名は知っていたが、具体的な内容について正直よく分からない。周囲にもよく理解していない人が多い。その理由に「ワンヘルス」という名称にいささか問題があるように思う。子供や高齢者にも分かりやすいよう、日本語での名称も考えほしい。【40代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスというネーミングから具体的な取り組みや内容が見えてこない。もう少し分かりやすいネーミングが良いと思う。【40代 男性（北九州）】
- ・ 私も含めワンヘルスの理念や活動が、まだ十分に理解されていないと思われます。ワンヘルスに関する教育や啓発の更なる充実が、ワンヘルスの実践には必要と思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ 「ワンヘルス」という言葉と「人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく」という言葉の内容がつながりにくいと感じる。言葉だけでなく意味まで覚えられると良いと思う。【20代 女性（北九州）】
- ・ 環境維持は重要です。人と動物の良い関係は、人間サイドから見ると危害が加えられないことが前提と考えます。保護には個数管理（多くなった場合の処置含め）が必要だと感じています。【60代 男性（北九州）】
- ・ 野山・河川・公園等の除草を自治区会としても市・県へ依頼するが予算面で対応遅れがあり、自治区会として補完しています。【70代以上 男性（北九州）】
- ・ 最近九州には生息していませんが、熊の出没が問題になるなどワンヘルスという言葉は知りませんでした。考えさせられることが増えました。福岡では猿やイノシシなどの出没が問題だと思いますが、ペットも室内で飼うことが日常化している昨今、屋外にいる動物への餌付けなど一人一人が気を付けなくてはならない状況だと感じます。【40代 女性（北九州）】
- ・ 初めて聞いた言葉でした。人畜共有感染症については、昔とはちがった住環境やペット飼育環境から気になっておりました。が、地球環境問題を含めて広い視野にたった言葉があることを勉強しました。今回の設問で、みやま市の取り組みに興味を持ってました。自分が普段からおこなっていること、今後関与できることなどがわかりとてもよかったです。【50代 女性（北九州）】

- ・ 近隣に野生の猿などがよく現れるので、野生動物と人間社会との境界をどう維持していけばいいのか悩みます【30代 女性（北九州）】
- ・ ワンヘルスという言葉自体になじみがなく、内容はよくわからない。冒頭の説明で初めて知った感じ【60代 男性（北九州）】
- ・ 今後取り組みたいことはあるか質問してもよかったのではないかと【60代 女性（北九州）】
- ・ 県の広報誌で見ました。ワンヘルスの推進は誠に広い範囲に及びます。近似には愛玩動物の飼い方の問題。食育での生産から購入そして飲食。多方面にわたってこのワンヘルスが関わっているとのこと。従ってあまりにも多方面にわたる為、いかに一人一人が身近なワンヘルスに取り組んでいくかの指針を、考えていく必要性を感じます。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 以前のアンケートの内容と同じような設問でした。それは、色々な部署や関係者が別々にやっているのでしょうか？無駄に感じてしまいます。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ テレビやラジオを使ったりして、もっともっとアピールしたらいいと思います。【60代 女性（福岡）】
- ・ 応援します。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルス？横文字で、何を言いたい言葉なのか、全く不明。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ プラスチックゴミの削減やリサイクル、リユースはまだまだ改善の余地があると思います【60代 女性（福岡）】
- ・ 全国初の『ワンヘルスセンター』の整備は県民として嬉しく期待しています。ペットを飼ったことや今後も飼う予定はありませんが、ワンヘルスの考え方を知って今後は身近な動物(ハト、カラス、虫など)を正しく理解して注意点を守りたいと思います。食品ロスを出さない、地元の食材を選ぶなども実行していきます。【60代 男性（福岡）】
- ・ 薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策も、ワンヘルスと関連して行われていたことを初めて知った。【10代 女性（福岡）】
- ・ 昨年まで犬を飼っていましたが、17歳で最後は介護も必要で夜泣きもあり、辛かったです。亡くなって1年になり、淋しさはありますが、また飼うことは考えてないです。犬のお散歩ボランティアなどがあるとやりたいなと思います。【50代 女性（福岡）】
- ・ 団地では ペット禁止ですが 犬や猫を飼っている人がいます なんとかしてほしいです【70代以上 女性（福岡）】
- ・ もう少し、大局的な視点を練ってから開始した方がいいのでは？新しいものに飛びついてやっています感を出すのもいかなものかと思います。【50代 男性（福岡）】
- ・ 県民への周知が必要！！【60代 男性（福岡）】
- ・ 自身も愛猫を飼っている動物愛好家です。病など特殊な状況を除き、殺処分をなくして行って欲しいです。この前、市政だよりに譲渡の猫ちゃんを拝見しました。
- ・ とても良い取り組みだと思いますが、掲載が少ないのが気がかりでした。県政だよりや市政だより、SNS などもっと広告媒体を拡大して、不幸な犬猫がいないように、努めて行ってほしいです。ペットショップの売れ残りの子達は、どうなっているのでしょうか…ヨーロッパなど、一部の地域ではペットショップの存在すらなくしているそうですね。動物虐待などは人間の心のない、鬼畜の仕業だと思っています、更なる刑罰の厳罰化を望みます。【30代 女性（福岡）】

- ・ 人類が地球と共存していくために必要な考え方だと思います。引き続き活動を応援させていただきます。【30代 男性（福岡）】
- ・ 動物とふれあう機会はほとんどないのですが、動物とのふれあいについてしっかり考えることも健康につながるのだと知り、そういう見方もあるんだなど大変勉強になりました。普段からなるべく動物とはむやみに接触しないようにしていましたが、ワンヘルスの取り組みのことを考え、今後も節度あるふれあいにとどめたいと思います。【30代 女性（福岡）】
- ・ 何をしたら良いか、は思いつかないので提案して欲しいです【20代 男性（福岡）】
- ・ 知識が少ない人に向けて、環境のため地球のためと言って新しいビジネスや消費活動の対象にしたり、感染症を煽り無意味なワクチン接種を奨めたり、人との交流を阻害する行為をやめていただきたい。森林開発-太陽光パネルで自然が失われているいませんか？農地化が行われていますか？-耕作放棄地のほうが増えているのでは？自然環境の悪化-これも太陽光パネルや風力発電をやめていただきたい地球温暖化は本当でしょうか？地球は寒冷化に進んでいる説もあります。30年前のデータを今も使って地球温暖化などと言っているのは日本だけなのでは？世界はすでにきがついています。中国産の太陽光パネルを山に設置し、山の動物の環境を脅かしているのも山の動物が里に降りてきているのではないのでしょうか？新型コロナウイルス感染症はただの風邪です。また、このウイルスは人為的に作られたものであり、その他の人獣共通感染症と一緒にしてはいけません。「G7サミット」は無意味です。脱退してください。2023年の医療費は14兆円でした。「ワンヘルスセンター」を整備し、適切に（過剰に）投薬をし、更に医療利権に繋がる団体を福岡県が先駆けて行っているというのは、恥ずかしい限りです。【50代 女性（福岡）】
- ・ 全国的に熊の被害がでており、山口県にも生息が確認されていると聞いています。何らかのきっかけで九州にわたってくることもあるかと思えます。九州は里山も多く、熊やイノシシ、イタチ、タヌキなどこれまでそう多くは触れてこなかった動物との共生が必要になるかもしれません。その時のためにどのように接していったらいいのか、捕獲や駆除の実態などについて広報誌等により周知をお願いします。【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスは、自然エネルギーと同じで、新たな利権構造だと思います。太陽光パネル、風力発電で部材生産から廃棄処理までのトータルエネルギーで消費エネルギーが少なくなっていますか？自然環境を壊して、何が環境に優しいのでしょうか？最近の熊、鹿、猪、猿などの出没は太陽光パネル設置と関係ありませんか？そして利益は外国企業にばかり、行ってはいませんか？ワンヘルスでどんな企業に利益が向かうのですか？綺麗事をこじつけた利益誘導の政策は飽き飽きです。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 人も動物も健康で長生きできるような社会を目指した公園を作って欲しい。散歩する時ちゃんとトイレを処理できるような、責任のある飼い主を増やす。【50代 女性（福岡）】
- ・ あまりにも自家用車の不要な利用が多いように感じます。中心街の車の乗り入れの規制や駐車料に税金をかける等、対策しても良いと思います。シェアカーやレンタサイクル等も広域に利用でき少し利便性が増すとありがたいです。まだまだ制約が多いように感じます。【50代 女性（福岡）】
- ・ 「人と動物の共生を」となると何をどうすれば…と他人事になりがちですが、エコバッグ持参の様な環境保護もまわり回って取組になると言われると、それなら出来る！となります。【40代 女性（福岡）】

- ・ 宇美町の四王寺県民の森の駐車場にワンヘルスを謳った車が停まっています。関係があるでしょうか。【30代 男性（福岡）】
- ・ 妊娠時、身近なネコという動物からトキソプラズマという感染症への注意を医師より受けたことから、動物絡みの病があることを知って気を付けようという意識が芽生えた。医療機関からの助言は効果が高いと思う。【60代 女性（福岡）】
- ・ 意味がわかりやすく表記できないでしょうか・・・【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスのイベントが舞鶴公園などでありましたがまだまだ少ない、もっとたくさん行って欲しいです。小規模の公園やペットグッズ屋などでも。【40代 女性（福岡）】
- ・ 最上位の考えは、「ワンヘルス」で良いと思いますが、一方で野生動物を駆除しなければいけない、という時に、説明をするべきです。県の中でも、部署間で認識に差があるのではないのでしょうか？【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルス何となく知っていましたが、今回の設問でよくわかりました。【60代 男性（福岡）】
- ・ ペットの飼育は最後まで健康で飼うのが義務だから、多頭飼うやネグレクトにならないように、動物病院などからワクチン接種や定期検診のお知らせ等をこまめにだして飼い主さんの意識に働きかけて欲しい。【50代 女性（福岡）】
- ・ 「野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している（人と動物の共生社会づくり）」とありますが、うちの前の川では、魚や鳥にパンくずを与えている人が多くいます。注意しても、次から次へといろいろな方がきます。もっとテレビ放映等で、野生動物に餌付けをしないなど告知が必要だと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ ひとりひとりが自覚を持って取りくむ必要があると思う。【60代 女性（福岡）】
- ・ 福岡県はアジアの窓口なので、博多港始め輸入受付が多いので、海外からの危険生き物の検疫を強化してほしいです。【50代 男性（福岡）】
- ・ 動物や鳥類を守ることは確かに重要であるが、その保護のため河川の浚渫に反対するような動きは問題がある。何よりも人命を守ることを優先してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスが包括的な概念で、ぼやける。内容をみると、うなずけるものだけど。「環境と人と動物のより良い関係づくり」など、個々にPRしたほうが良い気がする。ワンヘルスって言葉からイメージできる内容ではなく、なじみにくい。日本語表現したほうが理念が伝わりやすいと思う。【40代 男性（福岡）】
- ・ デパートの関係者から聞いた話ですが、デパ地下にある、食品ですが、売れ残りは時間帯により値下げして出来る限りフードロスを無くように頑張っているようですが、それでも売れ残った食品については廃棄処分するとの事です。デパートの思惑とか契約等、色々あるとは思いますが世間では今日食べれない人が多いと聞きます。なら、フードロスの観点から廃棄処分する食品をなんとか世間に還元できる仕組みは無いものか？また、その為に行政として動いて欲しいと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスのシンポジウムに参加したのですが、ゲストの坂上忍さんも福岡県の取り組みにとっても感心していました。ですが、ワンヘルス自体を知らない県民の方も多く、様々な取り組みを結び付けて定着させていくことがひつような・・・と思いました。【50代 女性（福岡）】
- ・ 最近、農地から住宅地まで、猪、鹿が増えて困っていますが、その対策を推進してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 動物との共生や環境保護にとっても興味があるので普及できるとありがたいです。

【30代 女性（福岡）】

- ・ワンヘルスが概念的イメージで具体策へ落とし込めていない様に感じる。大枠でいえば、3R活動などもワンヘルスの一環なのでは？日常生活で地球環境を意識する場面は限りない。全国発の施設が浸透への施策を発信してほしい。（ロゴ設定、活動強化期間設定など）【50代 男性（福岡）】
- ・今後、動植物と人間の関係を理解するための、研究が進むと良いと考える。そして、その研究成果を学校教育や県民への啓発活動に活かせるよう、県としてしっかり取り組んでほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ワンヘルスの存在を初めて知りました。とても素晴らしい取り組みだと思います。個人的にとっても関心があるので、今後の活動展開に期待しています。【20代 男性（福岡）】
- ・やっとなんヘルスという言葉聞く機会が増えてきます。動物が好きな人は多いはずなので、もっとみんなで取り組めるようなことを地域ごとに行えれば良いと思います。例えば大濠公園は絶好の犬の散歩場所になっています。そこでイベントなどをすれば飼い主だけでなく、ランナーにも興味を持たせることができたり、子ども連れの家族にもアピールができると思います。【50代 女性（福岡）】
- ・日本のラグビーチームが掲げたフレーズを参考にしたいのですが、ネーミングが二番煎じ。犬のワンかと思いました。皮肉です。【70代以上 男性（福岡）】
- ・自然環境の悪化や地球温暖化防止等の大きな問題を含んでおり、県にはあまり期待していませんが、精々頑張ってください。【60代 男性（福岡）】
- ・特に緑膿菌や MRSA の新たな薬剤耐性菌を生まないために、引き続き適切な薬剤の使用を求めます。【20代 男性（福岡）】
- ・野生動物を狩猟でとって食べる場合の注意点を広報してほしい。【60代 男性（福岡）】
- ・「人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増える」ことと、新型コロナウイルス感染を関連付けるのは乱暴ではないでしょうか？〇〇大学の〇〇教授はコロナウイルスは人工である可能性に触れています。「買い物の際にはレジ袋をもらわず、エコバッグを持参し、プラスチックごみの削減に貢献する」は、単に有料だからレジ袋をもらっていないだけです。レジ袋の有料化はどれだけプラスチックごみの削減に繋がっているのか？公表されているのでしょうか？環境に配慮するのであれば、太陽光発電や風力発電の推進を止めるべき。外国資本による土地買収を止め、豊かな日本の自然を守り、食料自給率を向上させるために農業、林業など一次産業をもっと保護すべき。【50代 男性（福岡）】
- ・ワンヘルスについて範囲が広いので、勉強します。【40代 男性（福岡）】
- ・公園などで餌を与えているのは少し違うと思っている。自然形態のバランス等を探って、栄養状況を良くして個体数が増えるのは避けたい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ゼロリスクはありません。【40代 男性（福岡）】
- ・開発途上国の意識を向上させる運動をすべき！発展途上国の人口問題を見てると、インドで不妊手術補助金で不妊手術をしていたのを思い出す。ワンヘルスの中に人口抑制を入れられないのか？赤十字の赤ちゃんを守ろうなど寄付はもうやめていいのではないのか？日本の人口増加に金を使うべき。【60代 男性（福岡）】
- ・とても大切なことなのでもっと皆さんの関心が高まるような啓発活動をしてほしい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・本日飯塚のコミュニティセンターで「遠賀川流域の文化誌」という講座を受けて

来たのですが、その中で先生が「これらのことも福岡が進めているワンヘルスにつながるんです」と説明されていてとても共感しました。遠賀川流域の川のお話を中心でしたが、日本経済大学の校章の説明でそのような内容のお話をしてくださいました。川の話、山の話、それぞれスポットを当てて広報でもっとワンヘルスについてお話を聞かせて頂ければ嬉しいです。【50代 女性（筑豊）】

- ・ 人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え・・・日本では、この認識は間違っています。高齢化や過疎化に伴い耕作放棄地などが増え雑木林や竹林、畑の手入れができていないため人里に野生動物が近づき繁殖していることが野生動物との接触が増えた原因です。耕作放棄地や空き家の草刈り等を行い野生動物を近づけないようにすることが重要です。【50代 男性（筑豊）】
- ・ 人間が自然の摂理に従っていない気がします。【60代 女性（筑豊）】
- ・ とくにありません。【70代以上 男性（筑豊）】
- ・ 虫の対策をたくさんやってほしいです【20代 女性（筑豊）】
- ・ 物価高で安価な時に多く購入し冷凍保存するなど、大変悪循環となっています。相次ぐ値上げは商品だけにとどまらず、便乗値上げや説明不能なケースが見られます。見て見ぬ振りも、もうできない。【60代 男性（筑後）】
- ・ 子供達にも触ってはいけない、コウモリなどの動物や死骸など教えて欲しい。【30代 女性（筑後）】
- ・ ここまで世界温暖化が騒がれていますが、具体的にこうした方がいいと努力するしないが存在し、重要性も人それぞれで受け方が違う。温暖化を止めたいのであれば動きを制限するしかないと思う。【20代 男性（筑後）】
- ・ あまり馴染みのない言葉なので、まだまだ周知する必要があると思う。【40代 男性（筑後）】
- ・ 筑後船小屋のワンヘルスのイベントに参加しました。子供達が動物と、触れ合い楽しそうにしていました。今後もワンヘルスのイベントがあれば理解が深まるのではないかと思います。【40代 女性（筑後）】
- ・ 地産地商の商品を購入出来る機会を、自治体で月一回でも朝市みたいな感じで行って、生産者さんとも触れ合えることが出来たらいいなと思います。【60代 女性（筑後）】
- ・ 全ての生き物を飼うにあたっては登録制などの把握が必要では？放し飼いの禁止とか？ 罰則など【50代 男性（筑後）】